

# 第166期 (平成15年度) 決算説明会

## 内 容

### 1. 説明

- (1) 第166期 (平成15年度) 業績の概況
- (2) 第166期 (平成15年度) 決算分析
- (3) 第167期 (平成16年度) への展望と予想
- (4) R&D戦略

### 2. 質疑応答

以上

- 日時:平成16年5月25日
- 会場:東洋インキ製造(株) 会議室

**本資料中の計画、予想は平成16年5月25日現在の認識・前提にたっており、  
これからの国際情勢、経済事情、事業環境等に著しい変化があった場合には、  
実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。**

# 第166期 (平成15年度) 業績の概況

# 基本経営方針の総括

4

## 中計の重点テーマ

1. 成果を志向する  
スピード経営体制  
への移行

## 2. 価値経営の実践

- (1) 全体最適化戦略と  
キャッシュフロー経営
- (2) 個別事業の執行責任

## 平成15年度経営方針

1. 技術に裏付けされた事業を深く進化させる

2. 資源のうち、有形のモノ、金、人数のスリム化  
と無形のブランド力、技術ノウハウ、人財のレ  
ベルアップを図る

3. 顧客重視・環境重視・コンプライアンス重視  
の正面経営にチャレンジする

(単位:億円)

科 目	平成15年度	平成14年度
売上高	2,164	2,170
売上原価	1,644	1,648
販売費・一般管理費	424	441
営業利益	94	80
営業外収益	25	32
営業外費用	31	37
経常利益	87	75

科 目	平成15年度	平成14年度
特別利益	20	50
特別損失	35	75
税引前 当期純利益	71	50
法人税、住民税 及び事業税	17	19
法人税等調整額	15	6
少数株主損益	3	4
当期純利益	34	20

## 【前期比】

売上	0.3%	
売上原価比率	75.9%	76.0%
対売上営業利益率	3.7%	4.4%
対売上経常利益率	3.5%	4.0%

対売上税引前純利益率	2.3%	3.3%
対売上当期純利益率	1.0%	1.6%

(単位:億円)

科目	平成15年度	平成14年度
流動資産	1,296	1,330
固定資産	1,382	1,316
繰延資産	0	0
資産合計	2,680	2,647
流動負債	946	814
固定負債	479	635
負債合計	1,426	1,449
少数株主持分	33	35

科目	平成15年度	平成14年度
資本金	246	246
資本剰余金	258	258
利益剰余金	720	703
その他有価証券 評価差額金	39	16
為替換算調整勘定	42	28
資本合計	1,220	1,162
負債、少数株主持分 及び資本合計	2,680	2,647

	連結会社 従業員人数 (人)	連結 会社 (社)	持分 会社 (社)	総資産 (A)	株主資本 (B)	株主資本 比率 (B/A) (%)	ROA (%)	ROE (%)	有利子 負債	保証 債務
平成14年度	6,362	67	12	2,647	1,162	43.91	0.77	1.79	903	43
平成15年度	6,064	65	11	2,680	1,220	45.53	1.31	2.92	852	37

支払い利息2億円の減少

売上高 前期比 0.3%

- ❖ カラーフィルターなどの成長分野、高機能・高付加価値分野での需要拡大と中国の需要好調
- ❖ 主力事業は物量は確保できているものの販売価格の下落継続
- ❖ グループ戦略として事業閉鎖などにより営業効率を向上させた

営業利益 前期比 16.7%  
経常利益 前期比 15.9%  
といずれも向上

- ❖ 長年懸案であった「グラフィックアーツ関連機器および材料」のセグメントが黒字化した。
- ❖ 成長市場、高機能・高付加価値分野の代表格である「化成品およびメディア材料」で営業利益の伸びが著しい（対前13.4%）
- ❖ 新事業開発プログラム（NP21）も中間期上方修正した目標をクリアした。
- ❖ 欧米の低迷が課題として残った。
- ❖ 与信管理の徹底により、貸倒引当金繰入額が減少した。

**【製造拠点の強化拡大】**

- 富士製造所高機能性顔料（メディア材料用途など）新工場の立ち上げ
- 液晶ディスプレイカラーフィルター用材料の製造工場（守山製造所および台湾子会社）が順調に稼動
- 上海新会社による新工場建設（平成16年7月より順次稼動開始）
- 天津（華北地区）のマザー工場機能強化 / 増産に着手
- 顔料 / プラスチック用着色剤の華東地区強化 / 華南地区への展開
- 埼玉製造所新工場の稼動開始
- 可食インキ用設備を川越製造所に新設
- 欧州では一部不採算事業の整理



## 【新製品開発とアライアンス強化】

- カラーフィルター、5G、6G用対応インキ
- NP21（新製品事業化プログラム）の順調な推移
- ノントルエン包装グラビアインキ、オフセット環境対応インキ、ラジエーションキュアインキの製品群などの新製品
- 機能性コーティング事業および塗加工事業の強化（ササのエキスを主成分とした天然系抗菌剤を開発など）
- 世界に先駆けた「環境調和型水なし印刷」「水なしUVハイブリッドSOYインキ」を印刷会社と共同開発
- サカタインクスとシステムインテグレーターを統合した「ジーエーシテイ（株）」新体制による発足

**【技術開発】**

- 従来の低分子に加え、高分子系材料をベースとした有機EL材料の開発と事業化
- 有機色素を用いた太陽電池材料群
- AR材料などディスプレイ周辺材料群
- 食品などのトレーサビリティのツールとしての可食インキ
- 産学共同による視覚障害者に識別可能な配色へカラーデザインを自動修正する技術
- 化学物質を効率よく除去する有害物質吸着分子鑄型技術

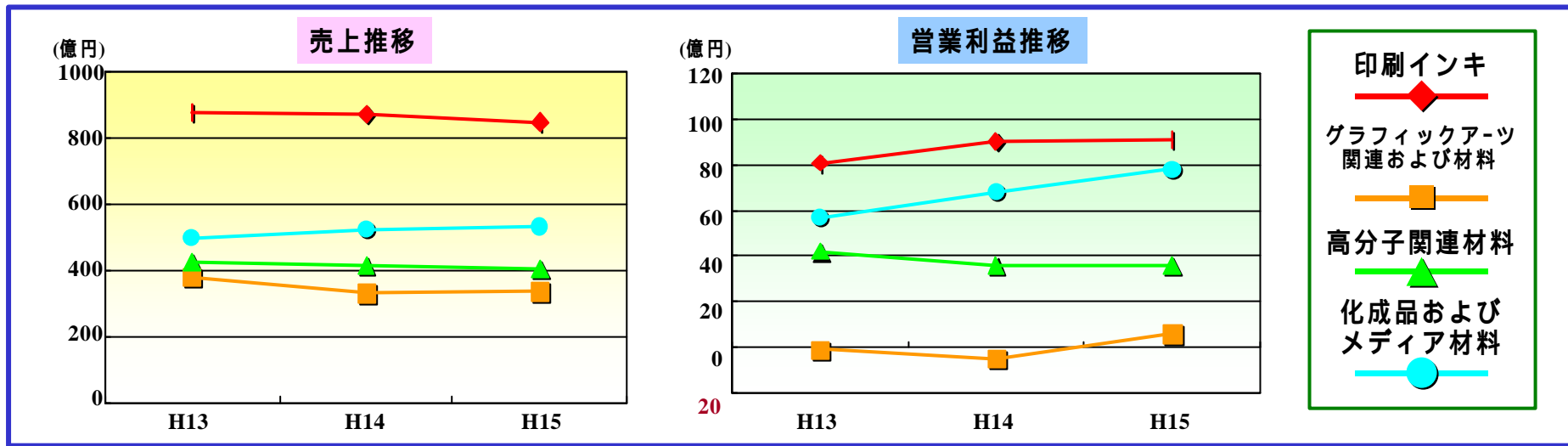
**【環境にも配慮した東洋インキ】**

- 製品リスク管理  
「東洋インキ使用禁止物質」「東洋インキ使用制限物質」を独自に設定



**第166期 (平成15年度) 決算分析**

# 事業セグメント分析



(単位:億円)

	印刷インキ		グラフィックアーツ 関連および材料		高分子関連 材料		化成品および メディア材料		その他		消去又は全社		合計	
	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
平成 13年度	879 (0.3)	81 (28.8)	379 (5.7)	1 (***)	427 (2.7)	42 (11.3)	499 (1.8)	57 (2.7)	120 (1.8)	3 (***)	83 (***)	113 (***)	2,223 (0.1)	69 (32.2)
平成 14年度	873 (0.7)	90 (11.0)	331 (12.5)	5 (***)	416 (2.6)	36 (14.2)	525 (5.2)	68 (19.5)	103 (14.3)	3 (***)	80 (***)	105 (***)	2,170 (2.4)	80 (16.6)
平成 15年度	850 (2.6)	91 (0.6)	336 (1.5)	6 (***)	407 (2.1)	36 (0.1)	534 (1.8)	78 (13.5)	95 (7.8)	1 (***)	61 (***)	116 (***)	2,164 (0.3)	94 (16.7)

黒字化!

## 印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成14年度実績	873	90
平成15年度実績	850	91

前期比 2.6% 0.6%

### 施策

- ❖ 生産拠点集約により、一時的に償却費増、及び除却損が発生するが、SCM効果をさらに強化
- ❖ 環境調和型インキ、高機能性インキ(UV、EBなど)の拡充、差別化で収益向上を図る
- ❖ 下期よりスタートした包装事業本部を中心に、コンバーターへのトータルソリューションシステム・材料の提供を促進
- ❖ 中国に加えて、東南アジアの市場拡大を図る

### 実行結果

- ❖ 国内では価格競争激化が続いたが、大豆油インキとUVインキの良さを兼ね備えた新規開発ハイブリッドインキや環境対応ノトルエン型新製品の拡販が寄与した  
中国は拡販も進んだが東南アジアで伸び悩み

## グラフィックアーツ関連機器および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成14年度実績	331	5
平成15年度実績	336	6

前期比 1.5% \*\*\*

黒字化！

### 施策

- ❖ 商品アイテムの絞り込みによりバリューチェーン提案にシフト
- ❖ 販売チャネルを組み直し、トータルソリューションを顧客へ展開
- ❖ グループ会社製品の拡販推進
- ❖ サカタインクスとの合併会社「ジーエーシティ」におけるCTP(コンピュータ刷版)を中心とした印刷業界へのアプローチの強化

### 実行結果

- ❖ CTP用版材伸長。グラビア印刷用シリンダー製版堅調  
新聞用品質管理装置が大幅に販売を伸ばす  
設備投資需要の回復に伴い、大型印刷機の販売も好調

高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成14年度実績	416	36
平成15年度実績	407	36

前期比 2.1% 0.1%

施策

- ❖ 缶用塗料は選択と集中でコストダウンを図り、資源を含め高付加価値製品へ
- ❖ 高付加価値製品として、エレクトロニクス市場、医療市場などに向けた新しい樹脂材料、機能性コーティング剤、粘着剤、粘着テープ、植物由来の加工製品などを打ち出す
- ❖ SCMを中心としてプロダクトミクスを見直し、収益を向上
- ❖ 関係会社も含め、中国、東南アジアを中心に事業連携を強化

実行結果

- ❖ 缶用塗料は日本・韓国共冷夏の影響で需要が減少し低調。接着剤関連は**表示ラベル、エレクトロニクス関連、自動車関連で好調**。マーキングフィルム関連材料は低粗利商品の整理などで売上減となるが、利益面では上昇

化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成14年度実績	525	68
平成15年度実績	534	78

前期比 1.8% 13.5%

施策

- ❖ 好調なメディア材料、ナノ粒子顔料などのスペシャリティ製品に対する投資も含めた経営資源の集中化を図る
- ❖ 汎用製品は、国内外を通し、選択集中による事業の再構築およびコストダウンを加速させる
- ❖ 米国、欧州についてはスペシャリティ製品へシフトを急速に図る
- ❖ 液晶ディスプレイ用カラーフィルター材料はナノレベルの合成、分散、微粒子制御技術を極め、世界一の技術提供を継続していく

実行結果

- ❖ 化成品では、メディア材料用を中心とした**高機能品が好調**である一方、欧米では価格競争激化、為替などで苦戦。インキ用顔料は、川下へ機能を拡げて一貫生産で収益向上をはかる。プラスチック用着色剤は、**エレクトロニクス関連向け好調**。カラーフィルター用材料では守山製造所、台湾新工場とも順調に稼動

# 事業セグメント分析 新製品新事業の業績報告(NP21結果)

ドメイン別主要新製品	売上小計	目 標
<b>環境調和型印刷・包装資材材料事業</b> オフ枚葉新製品 RC(UV, EB)インキ新製品群 ノントルエン包装グラビアインキ 印刷物連続検査システム 他	133.5億円	通期売上目標（期初100億円） 135億円（上方修正） に対し  98.9%
<b>機能性材料事業</b> 光学・エレクトロニクス用粘着剤 環境対応マーキングフィルム Min-EB(電子線) 抗菌関連製品 他	27.9億円	通期売上目標（期初30億円） 30億円に対し  93.0%
<b>電子・情報材料事業</b> カラーフィルタ用レジストインキ 有機EL 高速対応CD-R 他	118.7億円	通期売上目標（期初110億円） 115億円（上方修正） に対し  103.2%

期初目標240億円を中間期に**280億円**に上方修正し、その目標を**100%**達成！  
 限界利益で**139億円**の高収益製品群！



## 地域セグメント分析

(単位：億円)

	平成14年度		平成15年度		業績 Review
	売上実績	営業利益	売上実績	営業利益	
日本	1,794	53	1,805 (0.6%)	64 (21.0%)	印刷インキは輸出やUV拡販によって、グラフィックアーツ関連は設備投資需要の持ち直しと自社開発品の拡販によって、メディア材料も伸長し、概ね堅調に推移。社会保険料の引当など一時的な営業費用の増加もあったが、コスト削減と不採算事業および商品の縮小でカバー。
中国・アジア・オセアニア	311	25	338 (8.8%)	27 (8.4%)	SARSによる逆風あるも、市場の成長とインキ、顔料の拡販、拡大、台湾のレジストインキ工場の順調な稼働で堅調。東南アジアはSARSによる停滞、テロおよびイラク戦争に伴う原料費高騰による一時的業績悪化が影響。
ヨーロッパ	90	1	82 (8.2%)	2 (---)	ユーロ圏での経済沈滞のなか、主力の顔料をはじめ各事業で苦戦。特に顔料は、コモディティ化した製品の一部不採算事業の整理を進め、次期には収益向上の効果が実るものと期待。
北米	81	2	73 (9.2%)	2 (2.9%)	プラスチック用着色剤が自動車向けで堅調、記録材塗料も好調。主力の印刷インキ、顔料は伸び悩むが、UVなど高付加価値製品の販売強化に注力。
連結	2,170	80	2,164 (0.3%)	94 (16.7%)	

## 追記事項

連結 \* ( )内は単体

(単位：億円)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度予想
設備投資	168 (121)	134 (89)	150 (115)	120 (72)
減価償却費	98 (68)	104 (72)	105 (72)	120 (80)

## 1) 主要設備投資項目 (平成15年度)

東洋インキ本体

(単位：億円)

埼玉製造所	インキ製造拠点集約	42
富士製造所	顔料関連など	30
埼玉・守山製造所	表示材、電子材料など	9

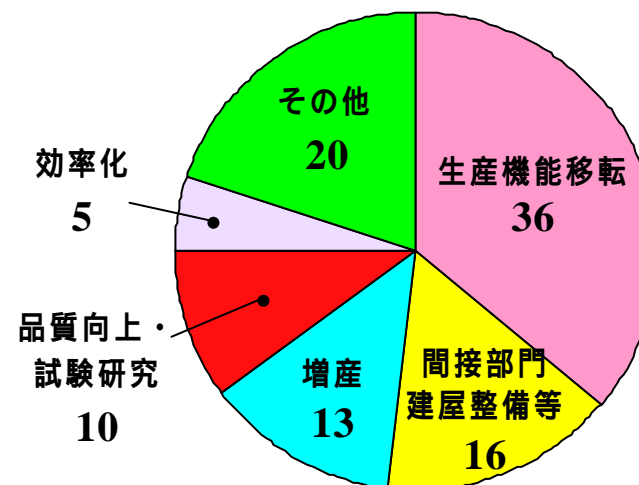
関係会社

(単位：億円)

東洋プリプレス	新工場建設	8
オリエンタル化成	CF材料関連ライン増設他	3
上海東洋油墨制造	新工場建設	5

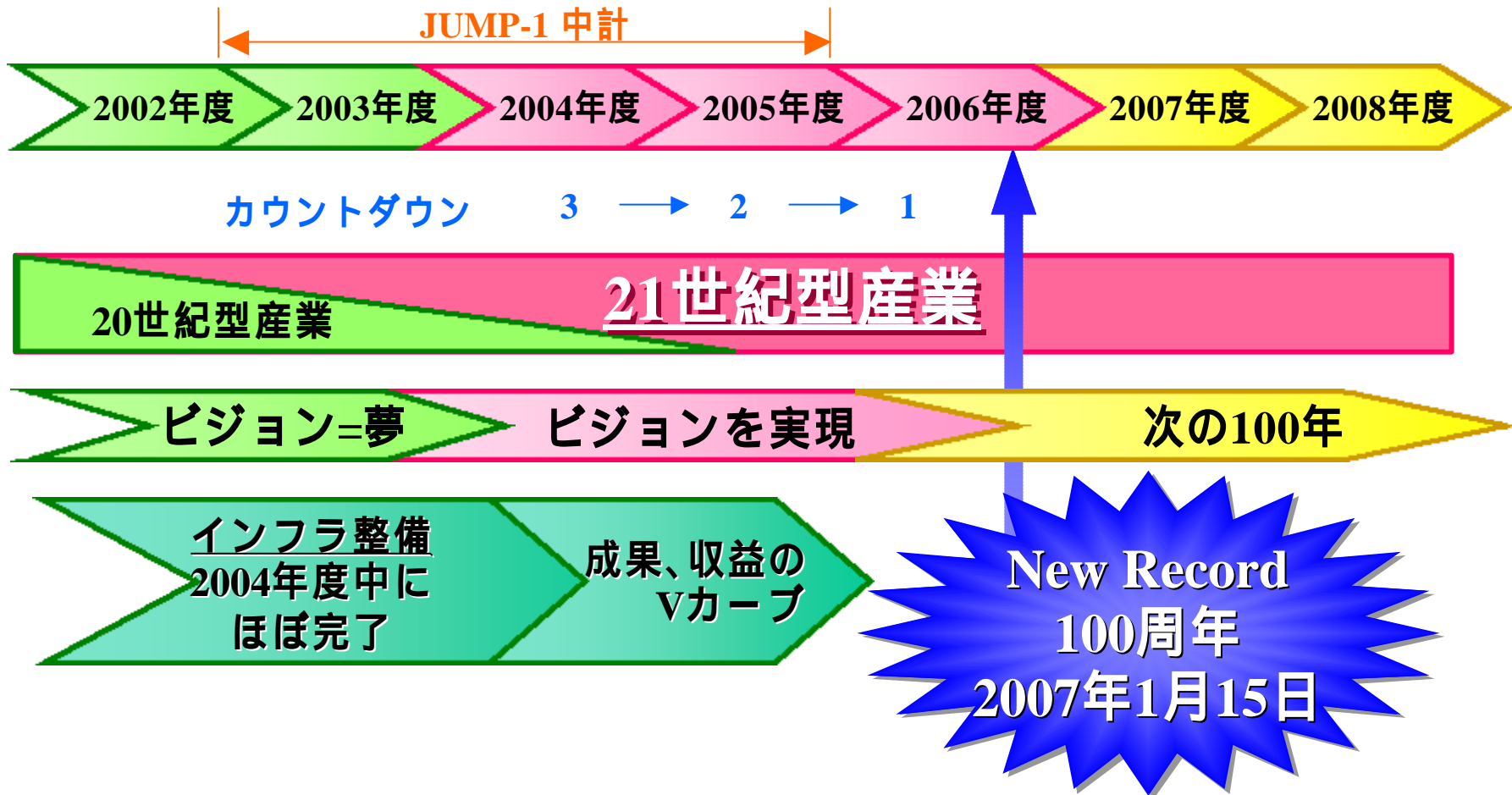
## 2) 設備目的別内訳 (平成15年度)

(単位：%)



# 第167期 (平成16年度)への展望と予想

## 価値創造、価値向上の生活文化創造企業に生まれ変わる



## 1 開発経営力重視の経営

- 新製品、新ビジネスを生み出す経営力に注力

技術開発力      市場形成力（企画力）      販売 / マーケティング力  
生産対応能力      顧客ニーズを具現化する力      営業力 など

## 2 国内のビジネス環境の変化に対応する経営

- 大提案競争時代、本格的アライアンス・得意先市場でのM&A時代への対応

人員配置や拠点に関してもバランスのとれた経営で、サービス、提案力  
アップに注力

## 3 グローバル化の経営

- 海外生産比率の向上による全体の適正化

## 中計の重点テーマ

1. 成果を志向する  
スピード経営体制  
への移行

2. 価値経営の実践

- (1) 全体最適化戦略と  
キャッシュフロー経営
- (2) 個別事業の執行責任

## 平成15年度経営方針 → 平成16年度経営方針

1. 技術に裏付けされた事業を深く進化させる

→ 1. 事業を営業力により拡張・進化させる

2. 資源のうち、有形のモノ、金、人数のスリム化  
と無形のブランド力、技術ノウハウ、人財のレ  
ベルアップを図る

→ 2. 収益向上のため、有形のモノ、金、人数の節約  
を徹底させる

3. 顧客重視・環境重視・コンプライアンス重視  
の正面経営にチャレンジする

→ 3. CSR\*(コーポレート・ソーシャル・レスポン  
シビリティ) 重視の真のSSにチャレンジする

\* CSR (コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)とは

企業の社会的責任で、単に経済的側面だけでなく、環境対応、法令順守、人権擁護、労働環境、社会貢献、消費者保護といった社会的側面も含めたバランスのとれた責任を果たす経営理念。これは企業価値の最大化のための企業ブランド力の向上が目標となってきたことに起因する。



## 2004年度経営方針

### ① 事業を営業力により拡張・進化させる。

- ◆ 技術的な進化は着実に進み、機能性を中心にした展開やビジネスモデルを変更しての拡張・進化への転換は進んできた。
- ◆ 次なるポイントの営業力（マーケティングパワー）に焦点をあて、顧客へのアプローチから成果の面で戦略的に強化をはかり、グループを挙げて事業の拡張・進化に結びつける。

#### ◎ビジネスモデル 変更での対策



印刷インキ、グラフィック  
ーツ関連機器及び材料  
のセグメントで従来とは  
違った価値の提供（ビジ  
ネスモデルの変更）によ  
り営業利益の増大を目指  
す。

#### ◎機能性付加の 新テーマ対応



高分子材料、化成品及び  
メディア材料のセグメン  
トでNP21プログラムの  
推進など積極的に新規製  
品・事業の開発を進め増  
収増益を目指す。

#### ◎成長戦略



世界の成長市場である  
中国・アジア地域で積  
極的な投資を行い、市  
場拡大を図って増収増  
益を目指す。

#### ◎リストラクチャ リング&機能性 新テーマ対応



欧米地域で不採算事業  
の整理と既存事業の再  
生により営業利益±0  
から大幅な利益増大を  
目指す。

## 2004年度経営方針

### ② 収益向上のため、有形のモノ、金、人数の節約を徹底させる。

- ◆ 進んでいるテーマもあるが、2004年度はテーマを絞り、モノ、金、人数の節約（最適化）を徹底する。

インフラ整備の投資を仕上げ  
の節約モードに

外注費、運搬費など経費削減と  
人員の最適スリム化を進める

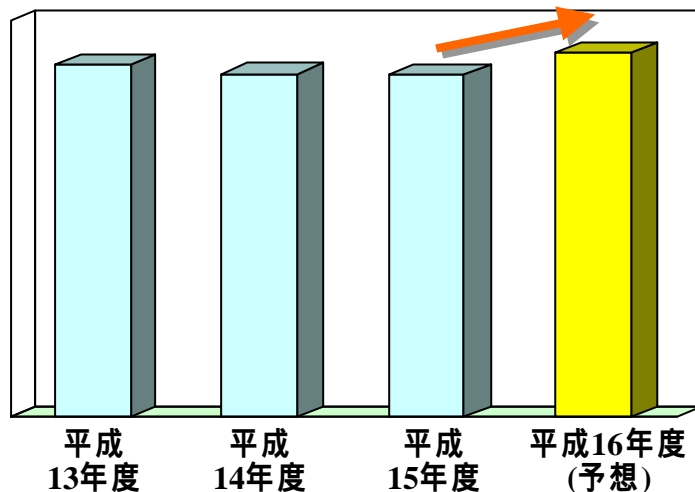
## 2004年度経営方針

### ③ CSR重視の真のSSにチャレンジする。

- ◆ 順調に個別テーマを消化してきた。2004年度は従来テーマに加えて、またはそれをまとめて、グローバルなグッドカンパニーをめざす。

ブランドは企業力である

売上高

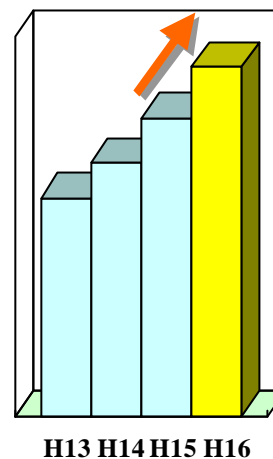


(単位:億円)

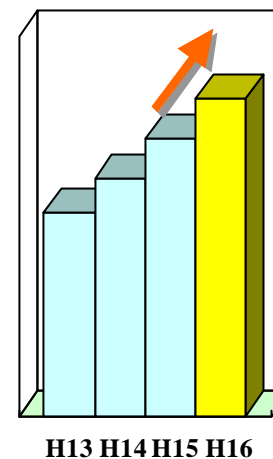
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度(予想)
売上高	2,223	2,170	2,164	2,300
前期比	0.1	2.4	0.3	6.3

NP21(新製品・新事業開発プログラム)で+50億円、海外で+84億円と予想しており売上高2,300億円の達成可能性は高い。

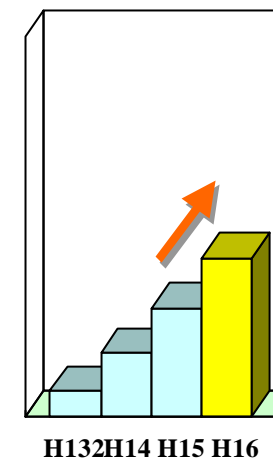
営業利益



経常利益



当期利益



(単位:億円)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度(予想)
営業利益	69	80	94	110
前期比	32.2	16.6	16.7	16.5
経常利益	64	75	87	100
前期比	35.0	16.4	15.9	14.2
当期純利益	8	20	34	50
前期比	53.0	160.9	65.6	43.8
ROE (%)	0.68	1.79	2.92	4.06
ROA (%)	0.28	0.77	1.31	1.85

## 印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成15年度 実績	850	91
平成16年度 予想	901	92

当期比 105.9% 101.6%

1. 地球環境への貢献、循環型社会形成への貢献、食品包装文化への貢献を通し顧客のベストパートナーとなれるビジネスで収益向上をめざす  
システム提案（環境調和型インキ + ラミネート接着剤 + 溶剤回収・燃焼装置）  
天然物由来・生分解型  
安全、衛生にこだわったインキ開発
2. ディスプレイ周辺をターゲットとした高機能材料とビジネス開発  
光制御・静電制御・ハードコート等、高機能付与コート剤  
高機能粘着剤
3. 中国・東南アジアの重点投資  
中国、韓国における包装関連材料事業を強化  
トータルソリューション提案による、グローバル顧客との付き合い

## グラフィックアーツ関連機器 および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成15年度 実績	336	6
平成16年度 予想	330	7

当期比 98.1% 111.0%

1. 協業メーカーとのグループ形成による新ビジネスモデルによる拡販  
ワークフローシステムの構築
2. サカインクスとの合弁子会社をフルに活用した仕入れとサービスによる顧客価値の創造
3. 産業用デジタル市場への新ビジネスモデルによる消費材の量的拡大

## 高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成15年度 実績	407	36
平成16年度 予想	439	39

当期比 107.8% 107.9%

1. エレクトロニクス、オプトロニクス、ライフサイエンス市場における  
粘接着剤、機能性コート剤、塗工材の群開発  
環境対応製品群、ラミネート接着剤群の品揃え  
エマルジョン技術の強化（生産含む）  
マーキングフィルムのNO.1ブランド確立  
天然物由来材料による製品の実績化
2. 海外拠点の軌道化（中国・マレーシアなど）
3. 塗料の事業構造の改善  
ボトル缶等大型製品確保  
環境対応による差別化

## 化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
平成15年度 実績	534	78
平成16年度 実績	599	90

当期比 112.1% 116.2%

1. メディア材料、スペシャリティ製品に対する経営資源の集中化
2. 汎用顔料・着色剤については、国内外を通し、選択集中による  
事業再構築で収益力を向上
3. カラーフィルター用材料はナノレベルの合成、分散、微粒子制御  
技術を極め、世界一の技術提供を継続
4. 国内外・関係会社も含めた事業連結による利益の最大化
5. 天然色素等スペシャリティケミカルズ事業に注力

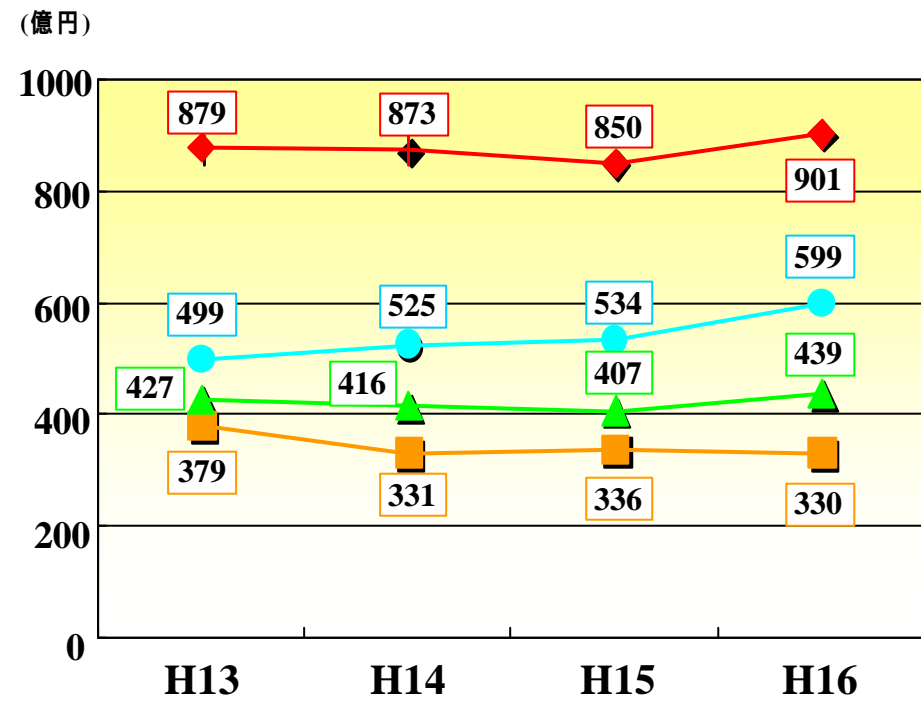
ドメイン別主要新製品	目標
<b>環境調和型印刷・包装資材材料事業</b>	
オフセット環境対応新製品 RC(UV, EB)インキ新製品群 ノントルエン包装グラビアインキ 印刷物連続検査システム 他	売上133.5億円 ↓ 売上150億円 (平成16年度)
<b>機能性材料事業</b>	
光学・電子・メディカル用粘着剤 環境対応マーキングフィルム 高機能性エマルジョン 抗菌関連製品 他	売上27.9億円 ↓ 売上30億円 (平成16年度)
<b>電子・情報材料事業</b>	
カラーフィルタ用レジストインキ 有機EL RFID用材料 他	売上118.7億円 ↓ 売上150億円 (平成16年度)

合計
<b>新製品・新事業の売上・利益貢献</b>
平成14年度実績 売上 201億円 限界利益 89億円
平成15年度実績 売上 280億円 限界利益 139億円
<p style="text-align: center;"><b>平成16年度目標</b></p> <p>売上 <b>330億円</b> (対前118%)</p> <p>限界利益 <b>162億円</b> (対前116%)</p>
 <b>売上 + 50億円</b> <b>利益 + 23億円</b> の貢献

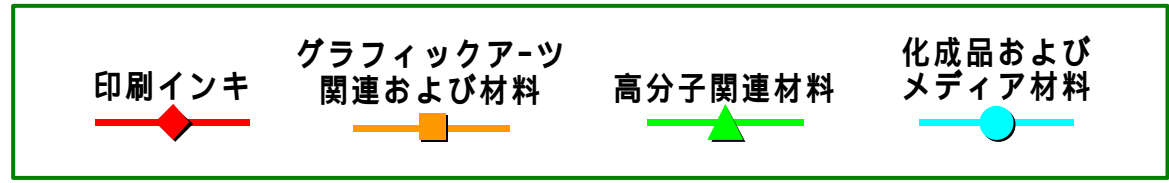
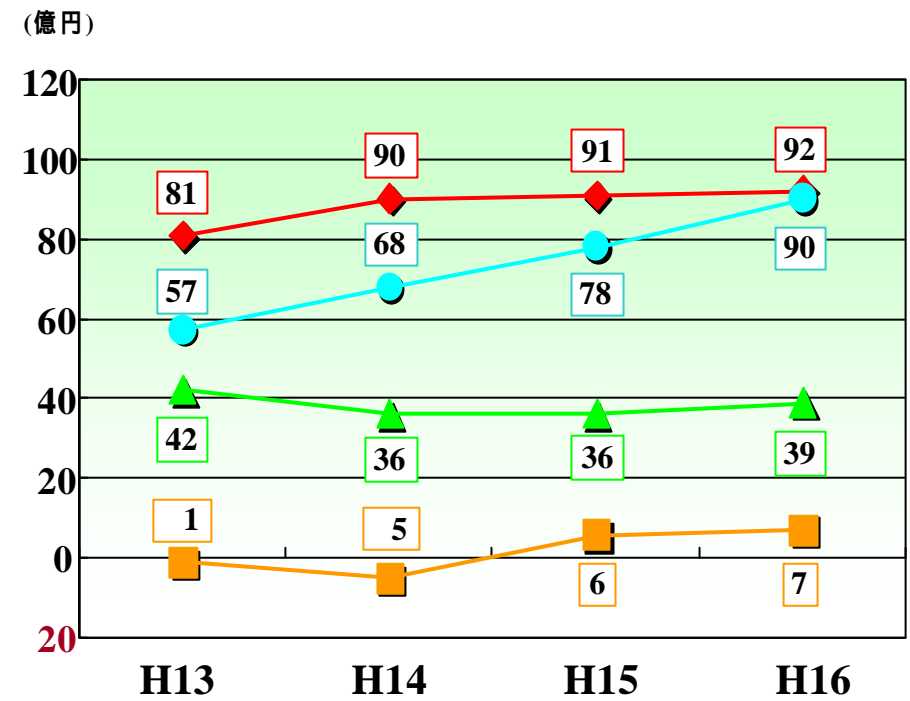
(単位:億円)

	印刷インキ		グラフィックアーツ 関連および材料		高分子関連 材料		化成品および メディア材料		その他		消去又は全社		合計	
	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
平成 13年度	879 (0.3)	81 (28.8)	379 (5.7)	1 (***)	427 (2.7)	42 (11.3)	499 (1.8)	57 (2.7)	120 (1.8)	3 (***)	83 (***)	113 (***)	2,223 (0.1)	69 (32.2)
平成 14年度	873 (0.7)	90 (11.0)	331 (12.5)	5 (***)	416 (2.6)	36 (14.2)	525 (5.2)	68 (19.5)	103 (14.3)	3 (***)	80 (***)	105 (***)	2,170 (2.4)	80 (16.6)
平成 15年度	850 (2.6)	91 (0.6)	336 (1.5)	6 (***)	407 (2.1)	36 (0.1)	534 (1.8)	78 (13.5)	95 (7.8)	1 (***)	61 (***)	116 (***)	2,164 (0.3)	94 (16.7)
平成 16年度 (予想)	901 (5.9)	92 (1.6)	330 (1.9)	7 (11.0)	439 (7.8)	39 (7.9)	599 (12.1)	90 (16.2)	90 (4.7)	1 (***)	61 (***)	121 (***)	2,300 (6.3)	110 (16.5)

売上高推移



営業利益推移





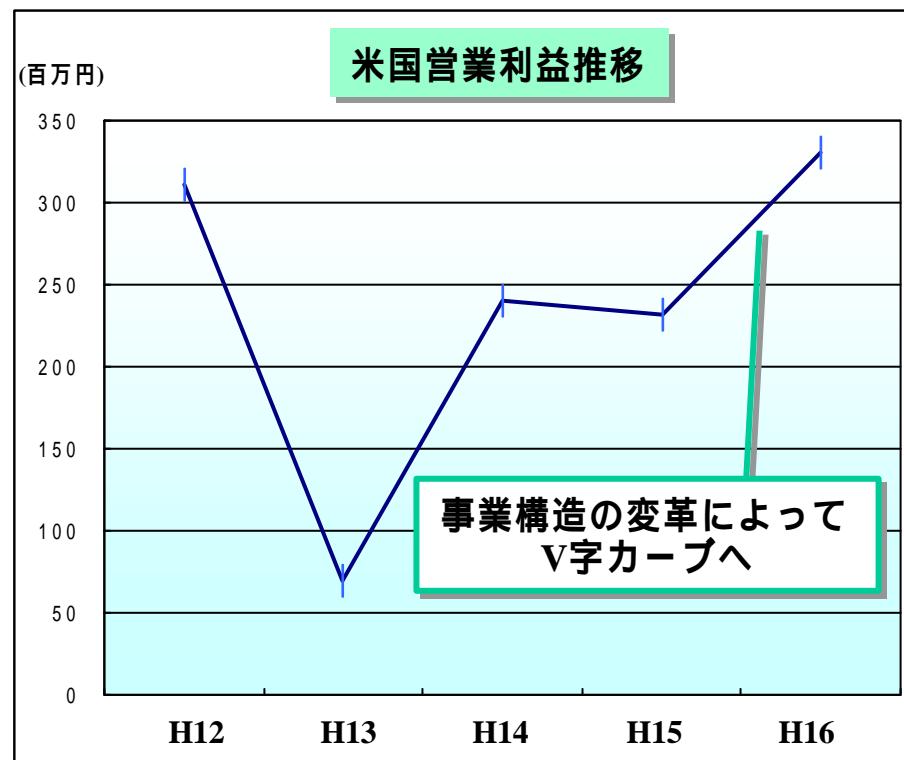
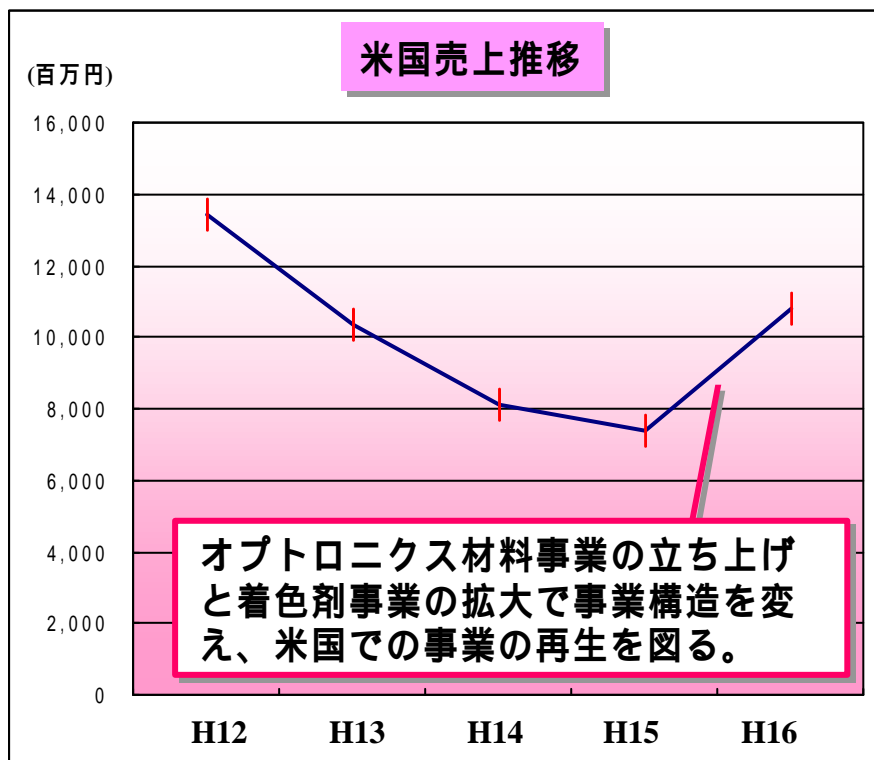
(単位:億円)

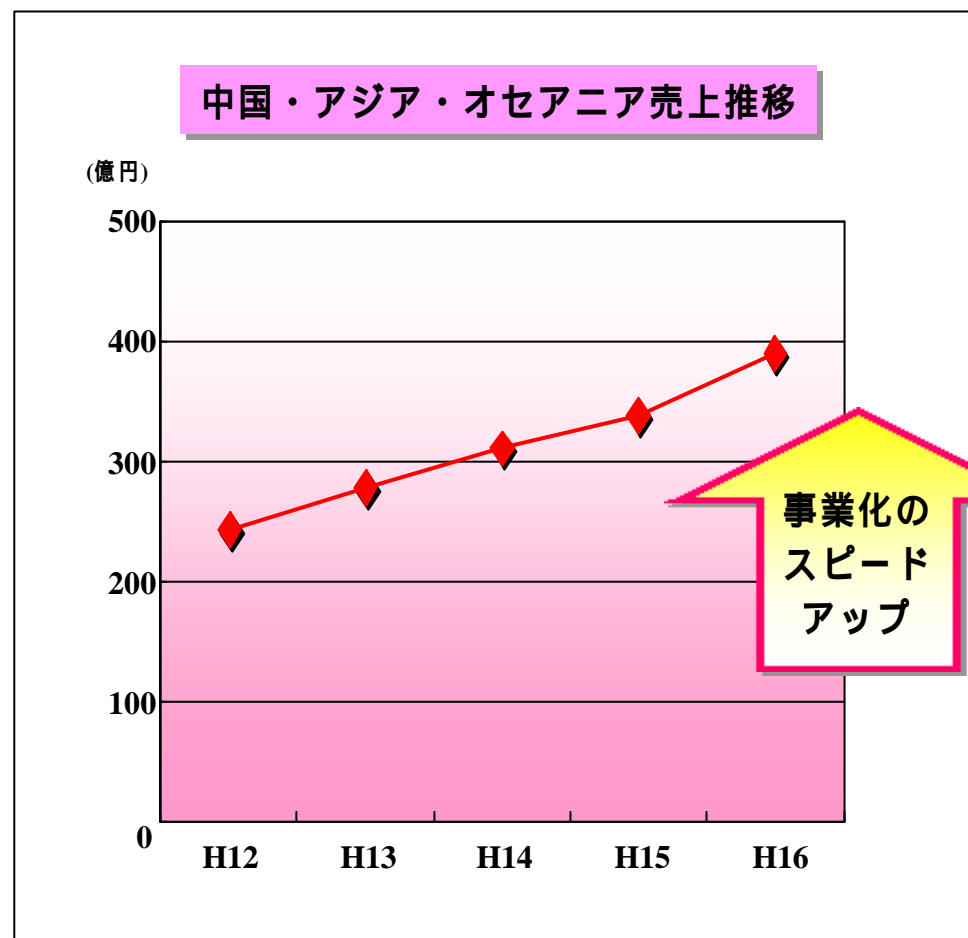
	平成15年度 売上実績	平成16年度 売上目標	差	平成15年度 営業利益 実績	平成16年度 営業利益 目標	差
日本	1,805	1,859	+53 (+3.0%)	64	82	+17 (+26.4%)
中国・アジア ・オセアニア	338	389	+51 (+15.1%)	27	24	3
ヨーロッパ	82	88	+6 (+6.4%)	2	0	+2 (***)
米国	73	108	+35 (+46.4%)	2	3	+1 (+41.6%)
小計	2,300	2,444	+144	92	110	+18
消去又は全社	136	144		1	0	
連結	2,164	2,300	+136 (+6.3%)	94	110	+15 (+16.5%)

次の  
ダッシュ  
へ!

## 従来汎用品種から新規スペシャリティケミカルに

——— 事業構造の変革が進む米国地域





中計課題の価値経営の実践、成果を志向するスピード体制への移行を更に促進さす

## 1 コーポレートマネージメントチーム制度の導入

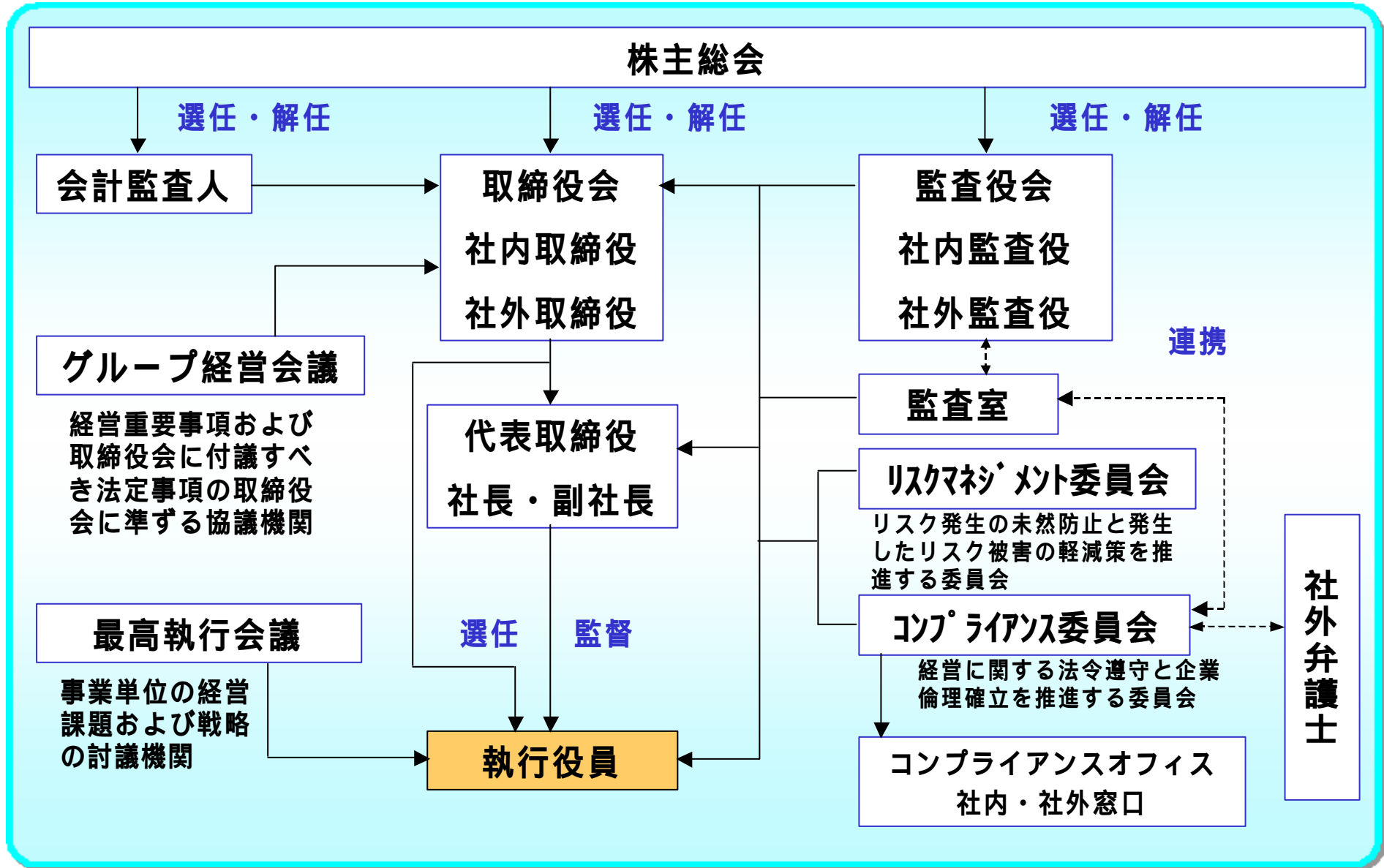
- CEOを補佐し、スピード経営を図る
- グループトータルの価値向上をリードする

## 2 4事業本部体制

- 印刷・情報事業本部
  - 包装事業本部
  - 高分子事業本部
  - 色材事業本部
- 成果を追求する戦略推進・事業運営での最適規模のユニットに再編
  - 技術に裏付けされた発信型運営

## 3 カスタマーネットワーク本部の新設

- 顧客・市場重視の正面経営にチャレンジするための横串機能強化



(単位:億円)

	連結会社 従業員人数 (人)	連結 会社 (社)	持分 会社 (社)	総資産 (A)	株主資本 (B)	株主資本 比率 (B/A) (%)	ROA (%)	ROE (%)	有利子 負債	保証 債務
平成13年度	6,508	68	13	2,832	1,180	41.69	0.28	0.68	945	49
平成14年度	6,362	67	12	2,647	1,162	43.91	0.77	1.79	903	43
平成15年度	6,064	65	11	2,680	1,220	45.53	1.31	2.92	852	37
平成16年度 (予想)	6,000	60	10	2,720	1,245	45.77	1.85	4.06	825	35



# R&D戦略

# R&D戦略 テクノロジープラットフォームの強化

ファインケミカル・環境対応新製品・新事業の拡大推進

## 成長に向かうドメイン

環境調和型印刷インキ・  
コンバーティング材料事業

機能性材料事業

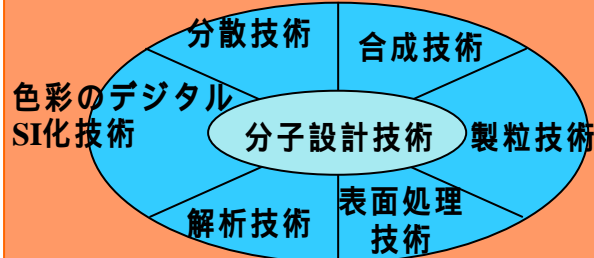
電子・情報材料事業

VOC削減  
無溶剤化  
環境汚染物質フリー化

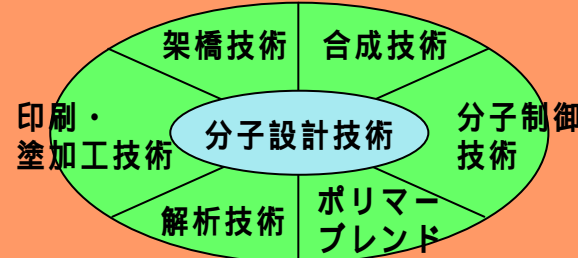
物理特性機能の付与

省エネルギー  
ダウンサイズ化  
高解像度化

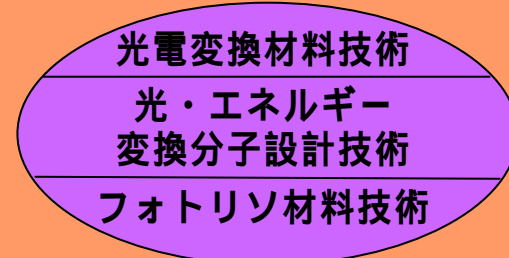
### 色素と色彩テクノロジー



### ポリマーテクノロジー



### 光電子材料テクノロジー



次期水性製品  
RC関連製品  
無溶剤インキ  
生分解・天然由来材料製品  
パッケージング材料  
デジタル印刷ワークフロー

バリアーコート剤  
表示材周辺製品  
顔料分散体製品  
コンバーティング材料

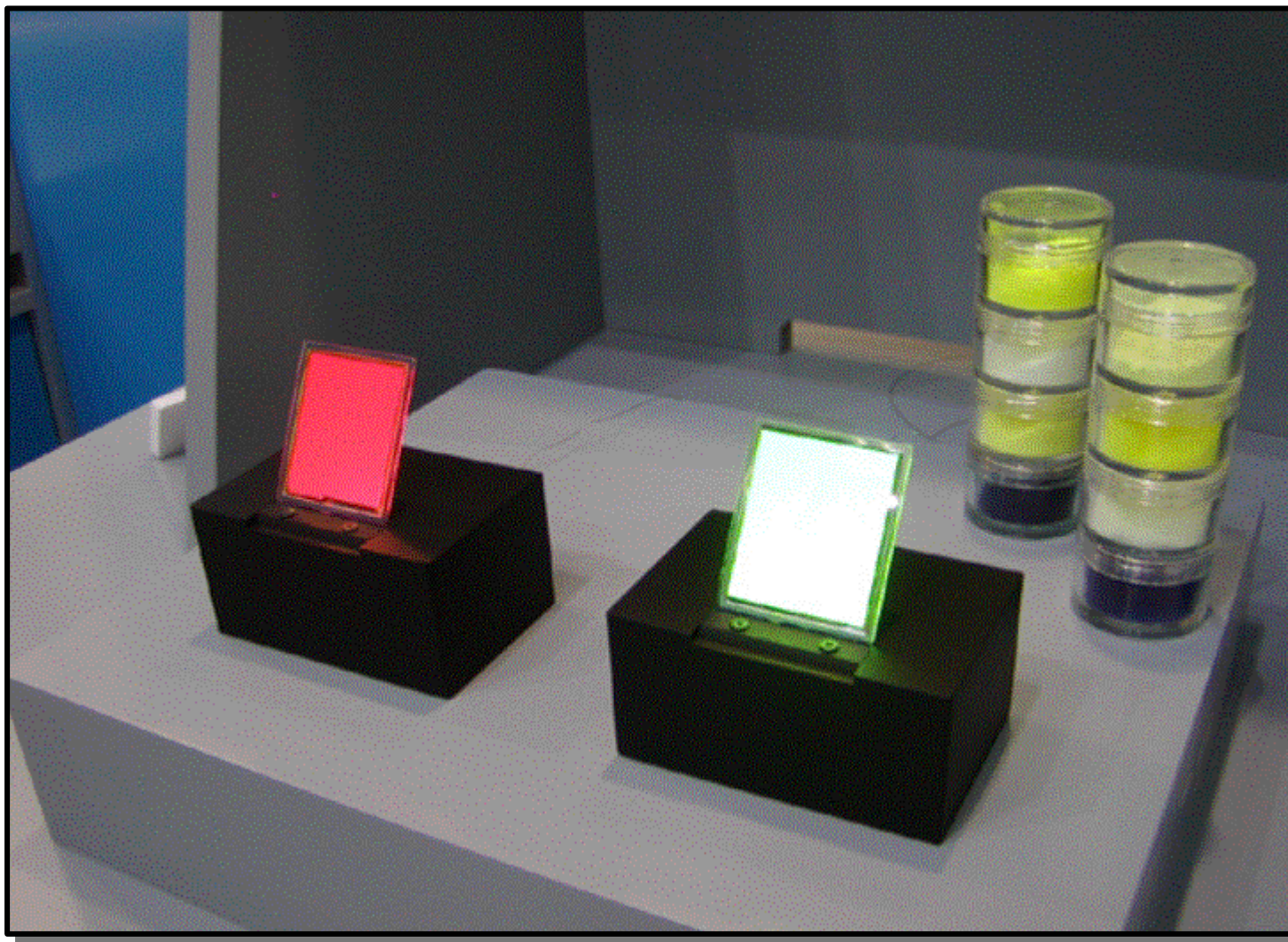
次世代有機EL材料  
次期CFレジスト製品

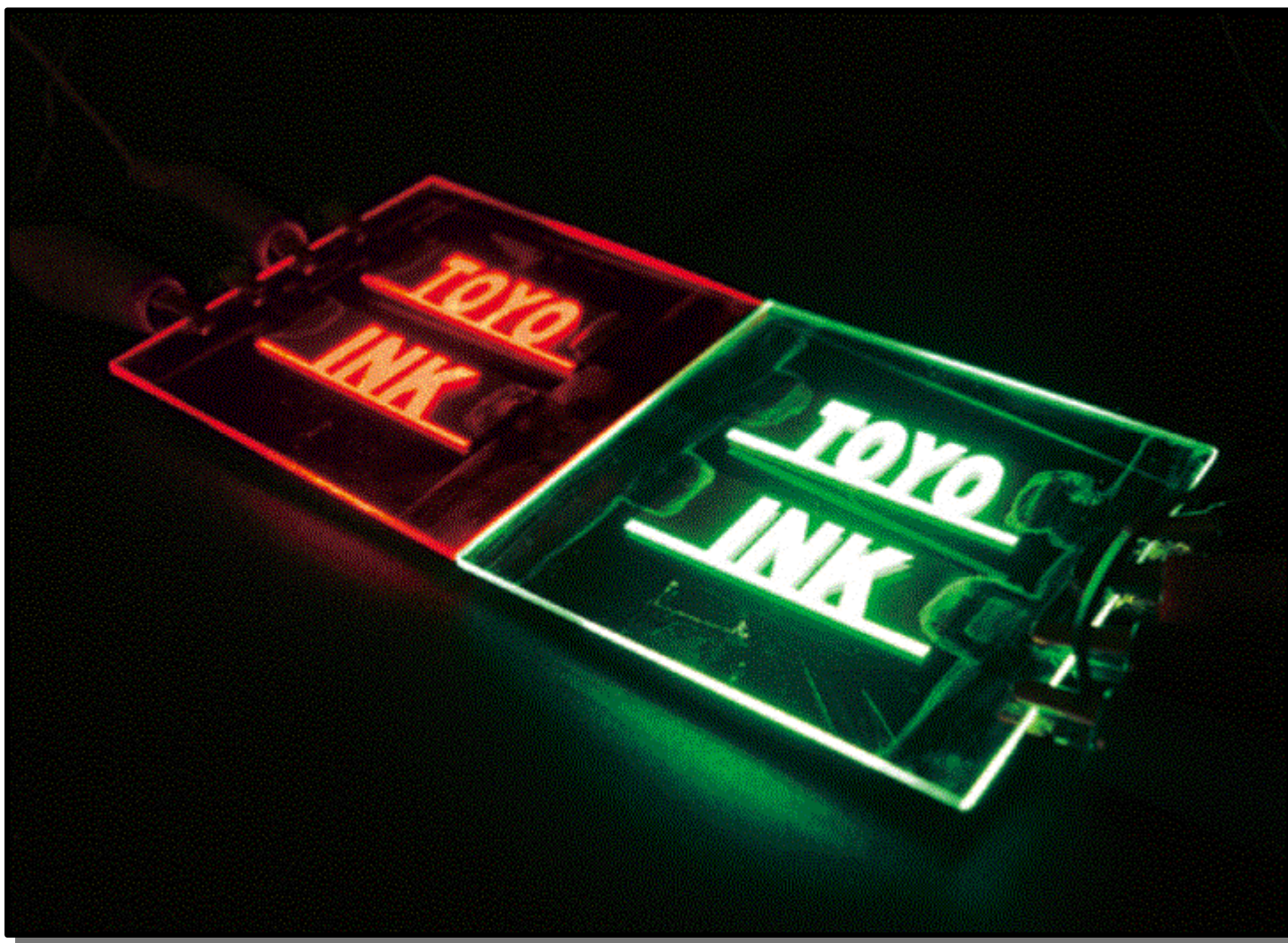


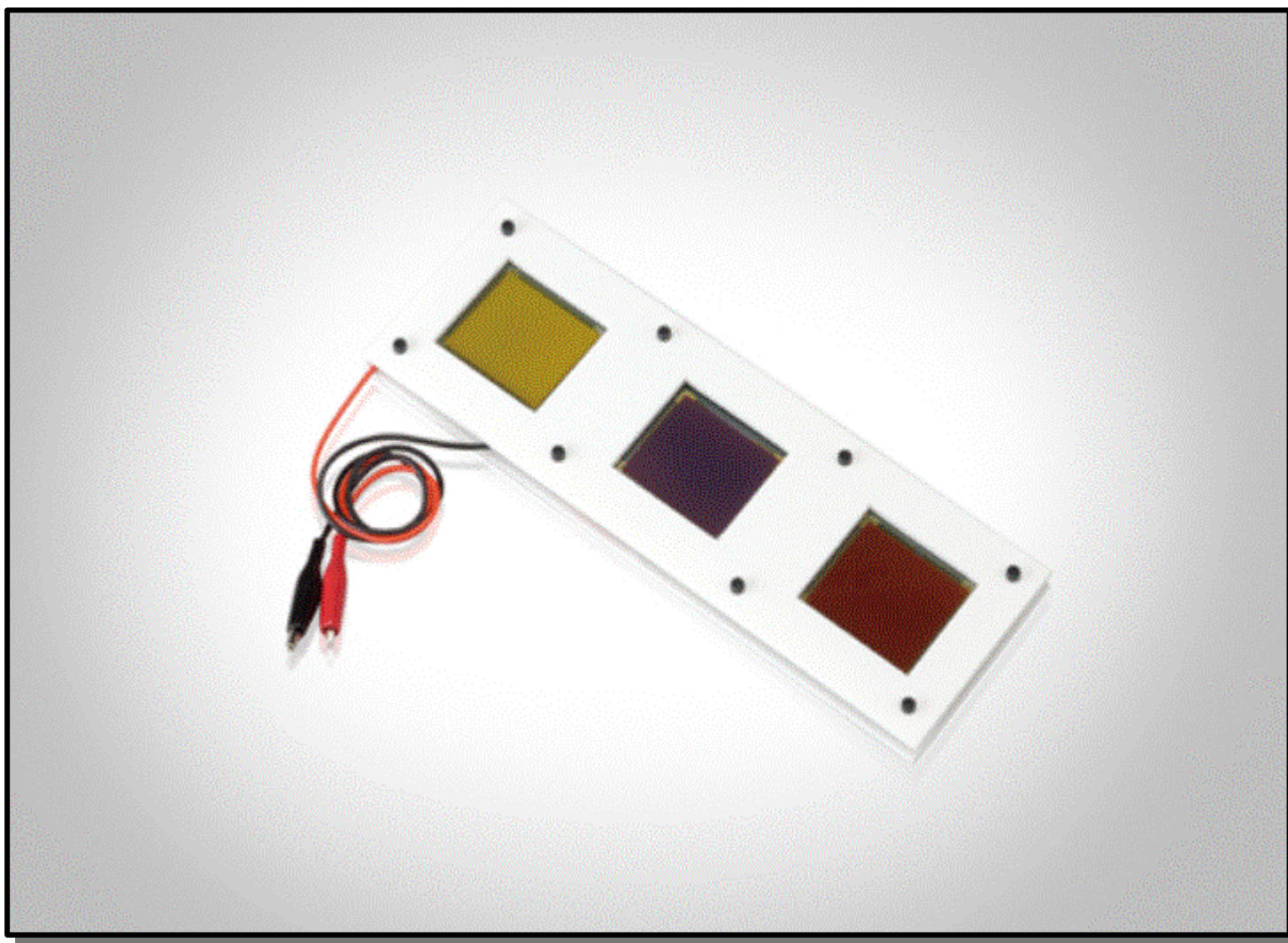
## NEXT21開発プラン（2003～2006年）

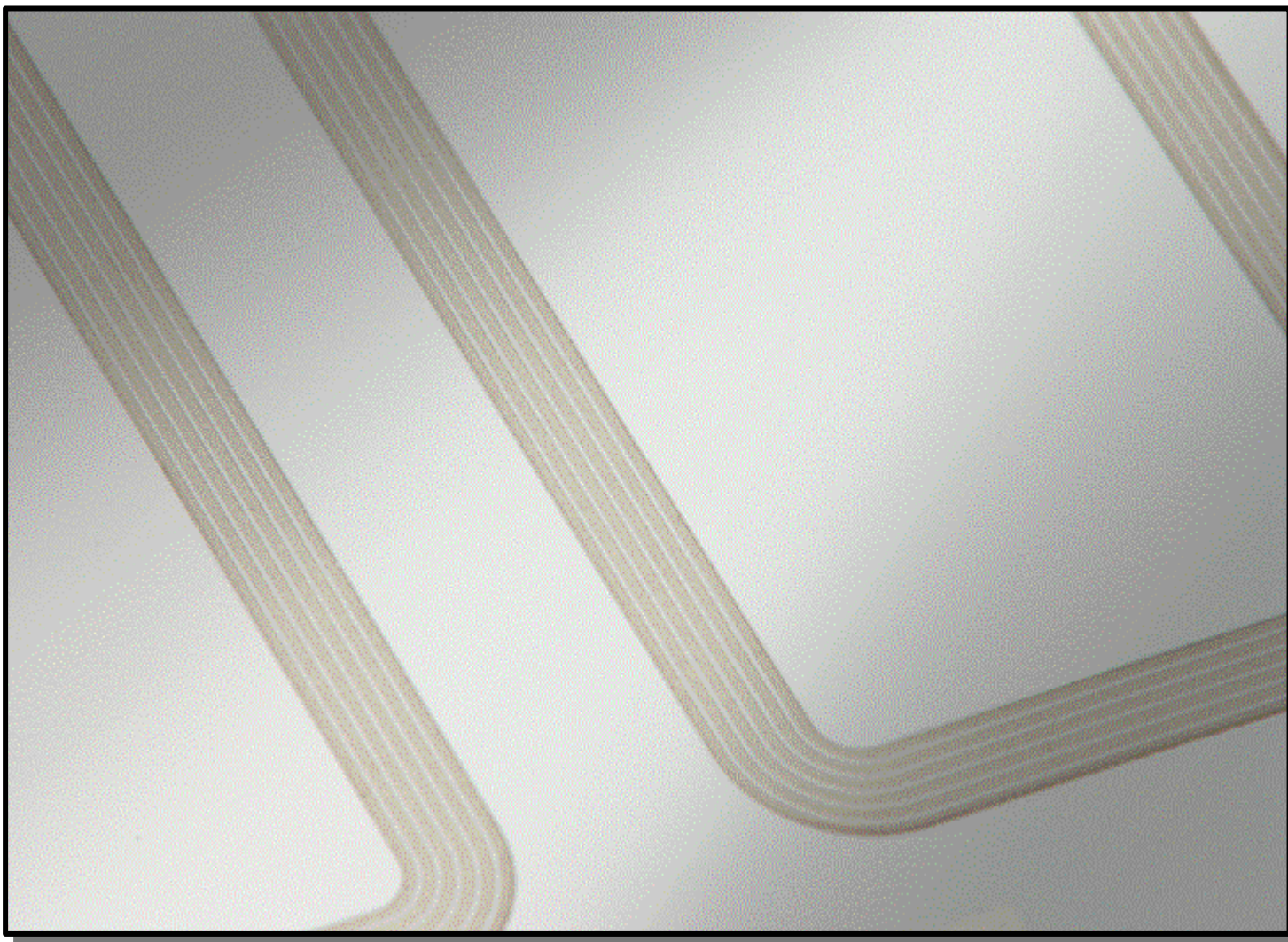
## 戦略的開発ユニット

バリアーコート剤開発	食品包装用コート剤 エレクトロニクス用コート剤
表示デバイス周辺材料開発	次世代レジスト材料 光学制御コーティング剤
レジスト材料開発	ICパッケージ用レジスト RFID用印刷アンテナ材料 光開始剤
有機EL材料開発	ディスプレイ用素材 バックライト用、照明用素材
太陽電池関連材料開発	グレッツェル型色素増感セル 有機半導体型薄膜セル









タマゴジェットプリンタ



トレーサビリティ & 可食インキ

ササマスク



天然物 & 抗菌